



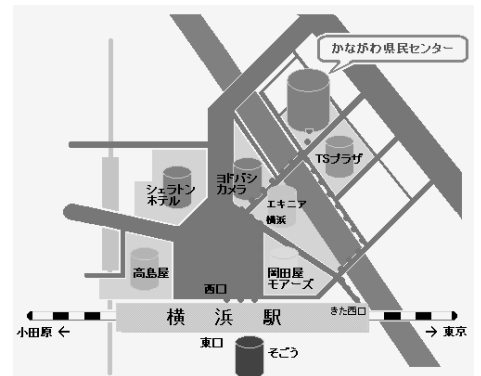
# 漢俳創作講座

～ 漢詩を楽しみ 漢詩を学び 漢詩俳句を創る ～

世界最高の詩歌といわれる漢詩は、時を超え、地域を超えて愛され続けてきました。人は季節を感じ、生活は詩人たちに時間の循環と推移の悲哀を痛感させてきました。

その四季歳時の漢詩を鑑賞し、また、漢詩の詩形、作詩の規則などを学び、季節を探しに吟行会を行い、五七五の漢詩俳句を創作します。

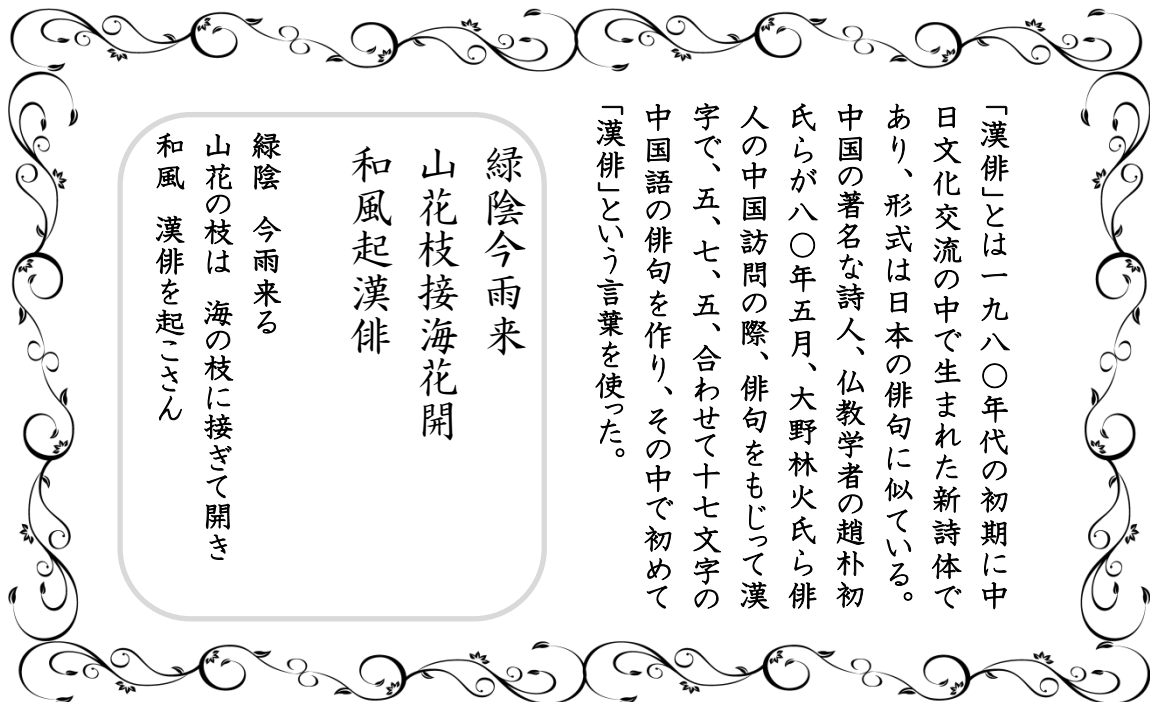
- 会場 かながわ県民センター 2F  
かながわ国際ファンクラブ KANAFAN STATION  
(横浜駅 西口・きた西口 徒歩5分)
- 日時
  - 第1回 5月27日(日) 午後1:30～4:00
  - 第2回 6月24日(日) 午後1:30～4:00 (予定)
  - 第3回 7月29日(日) 午後1:30～4:00 (予定)



- 講師 板本健作 氏 (神奈川県漢詩連盟詩游会)
- テキスト 「だれにもできる漢詩の作り方」太刀掛呂山著
- 参加費 1回 1,000 円 (資料代等)
- 主催 (一社)神奈川県日本中国友好協会
- お申し込みはお名前とご連絡先を協会事務局まで

※テキストをお持ちでない方は当協会でご用意いたしますので、申込時にその旨お伝えください。1冊 2,000 円です。

TEL:045-896-0124 FAX:045-896-0125 E-mail:[info@kanagawa-jcfa.jp](mailto:info@kanagawa-jcfa.jp)



「漢俳」とは一九八〇年代の初期に中日文化交流の中で生まれた新詩体であり、形式は日本の俳句に似ている。中国の著名な詩人、仏教学者の趙朴初氏が八〇年五月、大野林火氏ら俳人の中国訪問の際、俳句をもじって漢字で、五、七、五、合わせて十七文字の中国語の俳句を作り、その中で初めて「漢俳」という言葉を使った。

緑陰今雨来

山花枝接海花開

和風起漢俳

緑陰 今雨来る

山花の枝は 海の枝に接ぎて開き

和風 漢俳を起こさん